

平成25年度事業報告書

社会福祉法人エクレホスピア

1. はじめに

平成25年度の社会福祉法人エクレホスピアによるケアハウスめぐみの和の運営は、収入は前年比94.3%となりました。

原因としては、入居者が介護施設に転居したり、急死（突然死）したり、また市内に多くの高齢者向け住宅（サービス付高齢者住宅等）が建築されたことにより、入居しようとする人たちの選択肢が増えたことによる入居率の低下（前年比-5%）が挙げられます。

支出では人件費が微増となりましたが、事務費及び事業費は前年比マイナスとなり、経常収支では黒字計上となりました。とは言うものの、築7年となり建物及び付属設備等に不具合が生じ始めており、修繕費等が増加傾向にあります。

サービス面においては、常に法人理念に則り、入居者の必要にあったサービスを心掛けるとともに、入居者がこの施設で、新たな希望を抱いて生活していけるようにサポートしていきたいと思っております。

地域との交流という面では、地元で活動している各種団体（フラダンス、合唱グループ等）に積極的にアプローチし演奏等を実施したり、医師による健康セミナーを実施しました。残念ながら体験者はいませんでした。一泊二日の体験入居などを呼び掛けました。

今年度も、与えられた経営資源を有効に活用することによって、入居者に満足してもらえる施設、また地域住民に愛される法人・施設を目指していく所存です。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 法人事業活動状況

平成25年5月17日	自動車保険契約更新
平成25年5月17日	施設賠償保険契約更新
平成25年5月29日	資産総額登記
平成25年9月13日	平成25年法人土地・建物基本調査（国土交通省）
平成25年10月1日	社会福祉施設等調査票提出（厚生労働省）
平成25年10月7日	自動車税課税免除自動車実態調査実施
平成25年10月17日	行事・レクリエーション保険契約更新
平成25年11月20日	ケアハウス経営分析調査（静岡県社会福祉協議会）
平成26年1月10日	社会福祉法人に関する実態調査（厚生労働省）

3. 理事会（評議員会）開催状況

平成25年5月28日	評議員会	施設運営現況報告 平成24年度事業報告に関する件 平成24年度決算報告に関する件
	理事会	平成24年度事業報告に関する件 平成24年度決算報告に関する件
平成26年3月18日	評議員会	施設運営現況報告 平成25年度補正予算に関する件 平成26年度事業計画に関する件 新会計基準移行に伴う経理規定変更に関する件
	理事会	平成26年度当初予算に関する件 平成25年度補正予算に関する件 平成26年度事業計画に関する件 新会計基準移行に伴う経理規定変更に関する件 平成26年度当初予算に関する件

4. 監事監査の実施状況

平成25年 5月13日 遠藤芳郎、鈴木昭典、両名による監事監査実施
平成25年11月12日 //

【法人事務局の主要事務】

1. 法人の庶務及び会計の総括に関すること。
2. 職員の人事及び給与に関すること。
3. 職員の福利厚生に関すること。
4. 定款・規則・規程等の制定、改廃に関すること。
5. 理事会及び評議員会の運営に関すること。
6. 浜松市役所による指導監査の実施（法人本部）に関すること。
7. ケアハウスめぐみの和の運営に関すること。

平成25年度事業報告書

ケアハウスめぐみの和

1. 全体の概況と課題

「明るく健康的で希望に満ちた高齢期の生活づくり」をテーマとし、その追及と実現を目指していききたいという目的を達成すべく日々努めてきました。

主に、レクリエーションや食事、日常会話においてその実現を目指しました。ドライブでは、入居者から行きたいところ、見たいもの、食べたいものを聞き取り、要望や希望に応えることで活動量を増やすことができました。3時のおやつ会では、作ることの楽しみの場、助け合うことによる入居者同士の交流の場として活用することができ、年度後半には参加者を増やすことができました。入居者への積極的な声掛けや会話、担当するレクリエーションへの評価を職員同士が実施していくことで問題点を洗い出し改善することができた点も目的の実現に少なからず影響していると考えています。レクリエーションや生活面での満足が得られていくと、入居者同士が声を掛けあい、引きこもりの傾向にある入居者がレクリエーションへ参加され、コミュニケーションが増えるということも見受けられました。

入居者との面談や会話から聞き取れる入居者の満足は、レクリエーションが楽しいこと、レクリエーションには参加しないが食事時の入居者同士の会話を楽しむこと、3度の食事があること、健康が守られて生活する場があること、以前の住居に比べ家族との距離が縮まったこと、体力の衰えはあるができる限りケアハウスで生活を続けられることなどが挙げられました。入居者により生活のゆとりや安らぎ、満足感を得られる場面が異なること、個々人の心身状態、取り巻く環境の変化に伴い満足を得られる場面は変化していくことを職員も把握し、職員同士がその変化に対する「気づき」を共有することが以前に比べて、できた年度でもありました。今後は、「気づき」をいかにサービスに結び付けることができるかが課題であると考えます。

来年度は開設以来8年目に入ります。当初から入居されている方もおられ健康面、環境面などの変化がすでに見られています。介護面や生活の質における支援をますます必要とされることが予測されます。ご家族、医療福祉関係機関、入居者との信頼関係の強化、将来への希望を得られる生活づくりへの施設としての関わりに、理念を基に取り組んでいきたいと考えています。

2. 入居者状況（平成26年3月31日現在）

①入居者数

男性	8人
女性	11人
計	19人

②男女別年齢構成

年齢階層	男	女	計
60歳～69歳	2人	0人	2人
70歳～79歳	1人	3人	4人
80歳～89歳	3人	6人	9人
90歳以上	2人	2人	4人
計	8人	11人	19人

③年齢幅

	最低年齢	最高年齢
男性	63歳	95歳
女性	75歳	91歳

④入居率 ※月末に入居しているものを対象とする

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入居者数(人)	19	20	20	20	20	19	19	18	17	18	18	19
新入居者数(人)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
退居者数(人)	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
入居率 (%)	95.0	100	100	100	100	95.0	95.0	91.7	88.7	86.9	90.0	93.5

年間を通しての入居率 94.7% (前年度 99.9%)

3. 介護サービス利用状況 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

① 入居者の要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	合計
対象者 (人)	2	2	3	1	1	9

② 介護保険サービス利用状況 (重複有り)

	ヘルパー 訪問	通所 サービス	受診 付添い	訪問看護	施設申込	利用なし
男性	1人	0人	1人	0人	1人	1人
女性	5人	4人	2人	1人	0人	0人
全体	6人	4人	3人	1人	1人	1人

《介護保険サービス利用状況》

利用者数は年々増加傾向にあります。介護保険申請理由は、骨折やADLの低下により入浴や家事動作に介助を要してきたことが挙げられます。介護保険サービスを利用することで継続してケアハウスでの自立生活ができているため、今後も利用する必要が出てきている方々には勧めていきたいと思っております。

4. 事業報告

①地域との交流事業

- ・町の小さな映画館（ミニシアター）

6月28日（地域4名、入居者も参加）上映映画・・・『折り梅』

- ・心と体の健康フェア

11月12日（地域2名、入居者も参加）

講師：宇佐美隆利 先生（ひりゅうクリニック院長）テーマ『認知症の話』

②ボランティア受け入れ（新規）

- ・インドネシア人とその仲間たち：バイオリン、アコースティックギター演奏
- ・こっこ屋アンサンブル：クラリネット四重奏
- ・天竜めぐみキリスト教会：野花の会（讚美歌演奏）、敬老会ゲスト（ゲーム他）
- ・夏休み関東地域の中高生訪問：ゲーム他

③職場体験

- ・中学校職場体験受入（6名）・・・10月31日～11月1日、浜北北部中学校1年生

④入浴

	時 間	日	月	火	水	木	金	土
シャワー	11時～17時	シャワー女	女	男	女	男	女	男
浴槽	女性 18時半～20時半 男性 18時半～20時	シャワー男	男	女	男	女	男	女

⑤食事

月	行事食	備考
4	お花見弁当	
5	母の日弁当	母の日
6	父の日弁当 じゃが芋パーティー	父の日 めぐみ会芋掘り
7	流しそうめんパーティー	
8	流しそうめんパーティー 夏まつりパーティー かき氷サービス バーベキューパーティー	ワイワイ花火大会（家族参加）
9	かき氷サービス	
10	敬老会特別メニュー 秋刀魚・芋パーティー 運動会弁当	敬老会 めぐみ会芋掘り ミニ運動会

12	クリスマス会特別メニュー 年越しそば	グレースクリスマス会（家族参加） 大晦日
1	お雑煮&お正月料理 七草粥	元旦 1月7日
3	サンクス弁当	年度末サンクスフェア

《取り組み・課題》

年2回の嗜好調査をもとに、希望メニューは積極的に献立に取り入れるようにしてきました。残食が多いメニューについては、問題点を入居者から聞き取ることで調理方法や仕入れ品の変更をすることで対応改善を試みてきました。年齢にも幅があること、嗜好にも肉や魚では好みが全く分かれてくることもあり、栄養バランスを考慮しつつどなたにも楽しんでいただける献立作りが常に求められています。また、残食状況からは、その方の心身の健康状態の変化に気づくことができる点があり、給食委託業者とは、変化がないか会議や日常的に確認を取り合ってきました。今後もより多くの入居者の方々に満足と、楽しみと、安心を得られる食事提供に努めていきたいと思っております。

⑥防災関係

定期的点検を実施することで火災等の発生防止に努めた。

居室：たこ足配線等の有無確認、ストーブの周辺環境確認（年六回）

火災探知器の点検（年二回）

施設：電気器具等の劣化損傷など確認（毎日）

火災探知器の点検（年二回）

訓練：避難訓練（地震想定、夜間想定）、消火器取扱い説明

《課題》

階段使用の避難訓練に関して、全介助を必要とする入居者、一部介助の入居者が増えてきています。訓練中は限られた職員で声掛けや介助、ベランダへの避難をお願いすることで対応しています。しかし、実際職員又は宿直者一名の場合は、入居者の身体状況をよく把握した上での確な対応が求められます。訓練以上に状況把握が求められることを意識する必要性を感じました。

居室内の点検については、地震や火災などが身近で発生した時は、入居者の意識も高い傾向にあり、火災等が発生しないよう各自気を配られています。しかし、時間の経過とともに意識が薄れ、点検の必要性に対して入居者から疑問視されることもあります。いかに防災意識を持っていただくかは、点検の内容そのものに改善が必要であるのかもしれないため、今一度施設側として点検内容の整備の必要性もあると考えています。

⑦行事・レクリエーション

〔自由参加が基本〕

内容	回数	参加者
ラジオ体操	毎日 朝食前	4～5名
健口体操	週1回	5～6名
輝ら輝ら体操	週1回	5～6名
買物ツアー	月2回	4～6名
映画鑑賞会	月1回	4～6名
誕生会	月1回	10～15名
和時間	月2回	3～5名
オリーブの時間	月1回	10～11名
わくわく音楽タイム	月1回	6～7名
めぐみ会お茶会	月1回	6～8名
カラオケの和	月1回	3～5名
ドライブ ※行先は下記表参照	月1回	4～6名

月	ドライブ	内容
4	桜ドライブ 藤ドライブ	浜松市内 藤枝蓮華寺池公園
5	いちごドライブ	掛川市大淵
6	焼津魚センター& わさび工場ドライブ	焼津方面
7	うなぎドライブ	佐久米駅
8	寿司ドライブ フルーツパークドライブ	回転寿司 フルーツパーク
9	秋の味覚ドライブ	三ヶ日方面
10	寿司ドライブ	回転寿司
11	袋井市ドライブ 紅葉ドライブ	愛野方面 奥山方面
12	ホームセンタードライブ	袋井市ホームセンター
1	買物&外食ドライブ	和食処
3	梅ドライブ	大草山昇竜しだれ梅

《課題》

ドライブの行き先は、歩行を必要とする場合も多いですが、参加者によって歩行速度が異なるため全体に目を配るには職員数から考えても難しい場面が発生しています。ドライブに出かけたい方の希望もあり、歩行をあまり必要としないドライブも今後必要となってくると考えています。

⑧医療・衛生管理

(医療) 入居者、職員の健康診断受診機会提供 (年1回、実施期間: 9月~3月)

(衛生) 入居者、職員のインフルエンザ予防接種の機会提供 (11月)

⑨その他

・視察研修受け入れ

平成26年2月15日(土)に龍山地区の民生委員・児童委員・地区社協役員・人権擁護委員、行政相談委員、計18名による当施設の視察研修を受け入れました。

5. 事故

事故No.	場所	内容	医療機関への受診
2013-01	食堂	ゴム製のスリッパのストッパーが効きすぎてしまい自分の足がもつれ転倒。後頭部出血。 (普通のスリッパに変更してもらった)	通院 (ひりゅうクリニック)
2013-02	外出先 駅ホーム	駅のプラットフォームにて 急に意識を失い転倒し肋骨骨折。	通院 (整形外科)

6. ヒヤリハット

ヒヤリハットNo.	内容	対策
1-2013	医師より五分粥の食事を指定されていた方がご自分で常食のご飯をよそい、咽込みを起こす寸前であった。	職員が他者と会話中であった状況で発生した。特別食に注意が必要な方への見守りを優先させていくことを確認した。
2-2013	磐田線の飛龍大橋東のバス停前からひりゅうクリニック側の歩道へ車道を横切って横断されていた入居者がおられた。事故を起こす寸前であった。	個別、また入居者の集まりにて、必ず歩道や横断歩道を使用するようお願いをした。

7. 苦情

苦情No.	内容	是正策
2013-01	居室設置の内線電話に無言電話が掛けられてきて眠れない。無言電話の相手が特定でき、話し合いをしたが、物音を立てる側が悪い、と誤解を解くことや話し合いが進まない。	内線電話を一時的に取り外す。 ※施設側としては、緊急時を考えると取り外すことはしたくないが、睡眠を妨げられている状態を回避するために上記策を取らざるを得なかった。

8. 要望

要望内容	対応
透析時間を変更してほしい。 (申立者：入居者)	透析時間に関しては病院側と患者様間で決定することであるため、①要望は病院に伝えていただきたいこと、②要望内容をケアハウス側からも病院に伝えてはおくということで対応した。
腎臓病がありむくみが見られるため、食事のたんぱく質の量を減らしてほしい。 (申立者：入居者)	主菜のたんぱく質を減らして提供することにした。
自分の部屋だけが狭い、ワックスの効きもない。と言われた入居者の意向を受けて部屋を移動させてほしいという内容。(申立者：入居者及び家族)	入居者の方の身体的状態を考慮し、空室が発生した時点で部屋移動を実施した。